



2021年度
万代基金
報告書

間島記念館前満開の桜：堀田理事長撮影（2022年3月）

ご寄付いただいた皆様に感謝を込めてご報告いたします。



学校法人 青山学院

万代基金の2021年度の資金の流れは以下のとおりです。

2021年度 資金調達

2021年度寄付金収入
22億2,421万335円

万代基金
19億7,673万4,674円
内 小林弘明基金 10億円
内 コロナ支援募金 7,692万3,845円

その他(教育充実資金等)
2億4,747万5,661円

2021年度万代奨学金返済収入
2億8,352万1,221円

2021年度受取利息配当金
2億8,854万1,516円

2020年度にいただいた ご寄付から追加配分



給付型奨学金の増強

経済的理由により、学べない、留学できない学生・生徒を出さないために、給付型奨学金を拡充強化します。青山学院で学べてよかったと心から思える卒業生を輩出します。

今後の配分予定
1億4,914万4,609円



教育研究資金の増強

世界を視野に、より良い教育・研究と社会貢献の実現に向け邁進します。社会により良い未来への道筋を示しリードする青山学院を目指します。



万代基本基金(運用型)の増強

中長期的な発展のために貯蓄し、金融資産として運用します。運用益は、奨学金や教育研究資金などの原資を長期的かつ安定的に確保していくために用います。

万代基本基金に追加配分※
1億円

2021年度 資金使途

奨学金支出

奨学金給付
9億9,801万6,850円
(内 寄付金による奨学金給付
2億3,298万4,320円)

奨学金貸与
1,720万2,000円

教育・研究のための支出

AOYAMA VISIONに消費
1億5,003万1,965円

その他の教育研究に消費
4億9,407万7,554円

万代基金運用資産の増加

万代基本基金の増加
11億円(小林弘明基金10億円を含む)

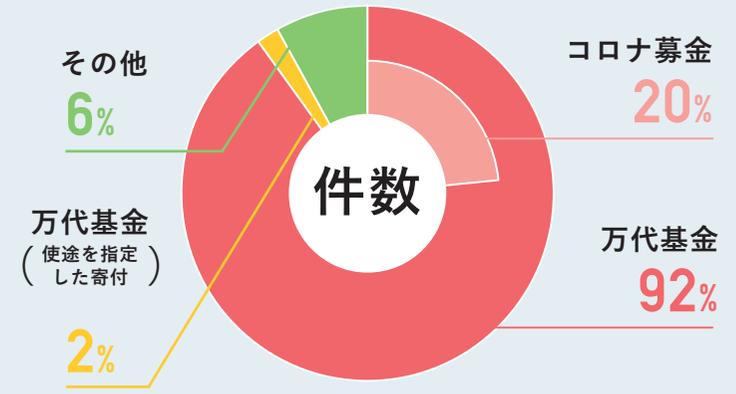
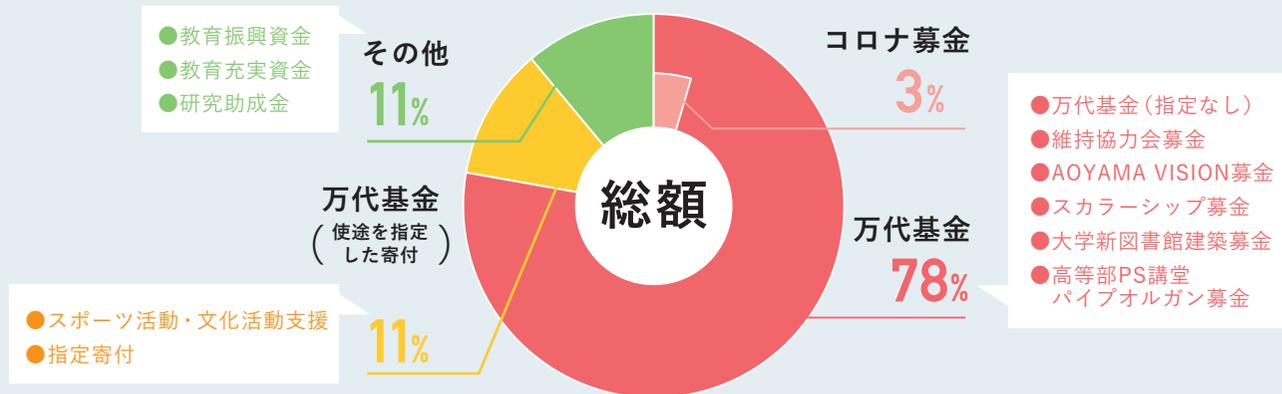
その他の増加
9億280万569円

2021年度ご寄付の状況をご報告いたします。

米ドルで16,000ドルのご寄付が含まれております。米国在住の方はGive2Asia経由のご寄付で、寄付金控除を受けられます。

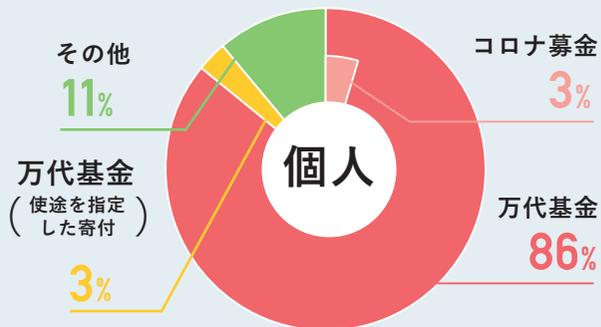
22億 2,421万 335円

13,846件

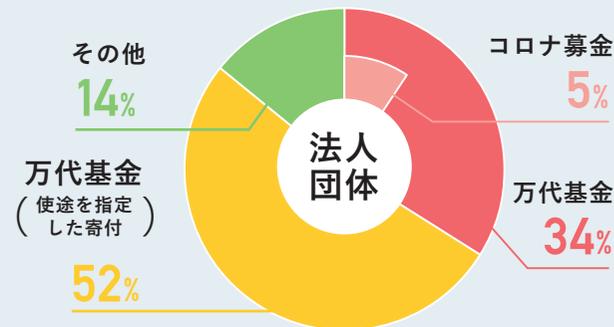


※総額の内訳

18億 6,856万 3,625円



3億 5,564万 6,710円



件数の推移
対前年度比 **124%**



皆様からのご寄付で奨学金を給付することができました。

ご寄付による
給付実績は以下のとおりです。



給付人数 **1,751** 人

給付額 **2億3,298万4,320円**

給付型奨学金の増強が若者を支えます。

「学びの継続」支援コロナ募金にご支援をいただきました。

2,907件 **7,692**万**3,845**円

長引くコロナウイルスの影響が家計を深刻に圧迫しており、昨年度の「新型コロナウイルス緊急支援募金」に引き続き青山学院では、学生・生徒等が、経済的な理由で勉学を諦めることがないよう、在校生に給付型奨学金を支給するため「学びの継続」支援コロナ募金を募集し、多くの皆様からご支援をいただきました。大学予算を加え、1,158人に奨学金を給付することができました。心より感謝申し上げます。

この度はご支援くださりありがとうございます。コロナウイルスによる業績悪化の影響で父の収入が減り、学費の支払いが困難になってしまいました。しかし、私は公認会計士を目指して勉強しており、今年合格するためにもアルバイト漬けの生活はできませんでした。奨学金のおかげで金銭的な不安が和らぎ、学費や就活費用などを考えず資格試験に集中できるようになりました。私が試験に合格し、公認会計士となった時には経済的事情から勉学を諦めてしまう学生の手助けができるように、寄付やその他の活動をしていきたいと思っています。(大学 法学部4年生)

学生
の
声

つながる想い

学生の声、
支えてくださる寄付者様の声

好きなことに全力を注げた 青学での4年間

動画は
こちら!



学生(大学 経済学部4年生)

中学・高校とバレーボールをやっており、大学でも部活動が続けるにあたり、青山学院大学のバレーボール部はスポーツだけではなく勉強や社会性も大切にしているところに魅力を感じ入学しました。母子家庭で自営業のため新型コロナウイルスの影響を受け、経済的に本当に厳しい状況だったため給付型奨学金を受給できたことで大変助かりました。将来は海外でプレーすることを目指してバレーボールを頑張っています。やりたいことに全力を注げる環境をつくっていただけたことに本当に感謝しています。

大切なお年玉は後輩のために

動画は
こちら!



寄付者様(初等部～高等部卒業生)

明治生まれの父親が渡してくれたお年玉を、もったいなくてずっと使わずに持っていたが、コロナ禍でアルバイトができずに困っている学生がたくさんいると聞き、このお金は青山学院の学生のための寄付に使いたいと考えました。「人のために尽くしなさい」という、小さい頃に教えていただいたキリスト教教育がいまでも身に染みついており、青山学院で受けた細やかな教育は私の人格形成に大きく影響していると思います。どんな大変な時代でも青山学院の学び舎に集まればのびのびと学校生活が送れる…そう思える校風をずっと継承して欲しいと思っています。

教育研究資金への使途の一例をご紹介します。

AOYAMA VISION 4 Challenges ——— 2021年度の取り組み

多様化する教育ニーズへの対応



サイバーエージェントグループの株式会社CA Tech Kidsとパートナーシップ協定を締結し、共同でプログラミング教育を実施（初等部）



国際マネジメント研究科 国際認証「EFMD Accredited MBA」を取得

世界と
未来を
拓く教育



新図書館の機能・学習空間の充実

大学新図書館棟の建設
(2024年完成予定)

世界に誇る
知的
インフラ

リカレント教育の企画・実施運営
(独自の社会人教育プログラム
青山アカデミアの実施)

世界が
求める
社会貢献



人と地域社会と本学をつなぐ教育の展開

世界を
リードする
研究

本学のSDGsに対する
研究強化への取り組み



先端研究への挑戦

大学執行部より



新図書館オープンに向けて

大学 学長
阪本 浩

青山学院大学では、2024年度に青山キャンパスに新図書館をオープンする予定です。昨年11月25日には大学新図書館棟建築工事竣工式が執り行われ、関係者の方々にご臨席いただきました。

20年近く前から教員、学生から「新しい図書館を」という声が高まり、新しい図書館の建設が大学の悲願となっております。青山キャンパスにふさわしい図書館棟となるよう期待しております。皆様からのご寄付に感謝申し上げるとともに、「利用者と共に進化する図書館」を目指してまいります。



地球と人間が共存する 持続可能な社会に向けて

大学副学長
大学院会計プロフェッション研究科 教授
総合研究所長
小西 範幸

19回目を迎えた青山学院「会計サミット」は「AOYAMA GAKUIN Global Week」での催しの一つとして青山学院大学総合研究所との共催で開催されました。

人間と自然が共存する持続可能な社会の維持に必要なサステナビリティの要素を「地球システム」、「社会システム」、「人間システム」の3つの観点から取り上げて、これらの相互関係がうまく機能していくための方策について4人の著名な有識者をお招きして議論しました。

青山学院におけるSDGs関連の活動、教育、研究の取り組みを推進することで、SDGs達成の一助となることを願っております。

青山学院維持協力会への長年のご支援ありがとうございます。
「維持協力会」の理念は「万代基本基金」へと継承されます。

果実を含む正味財産

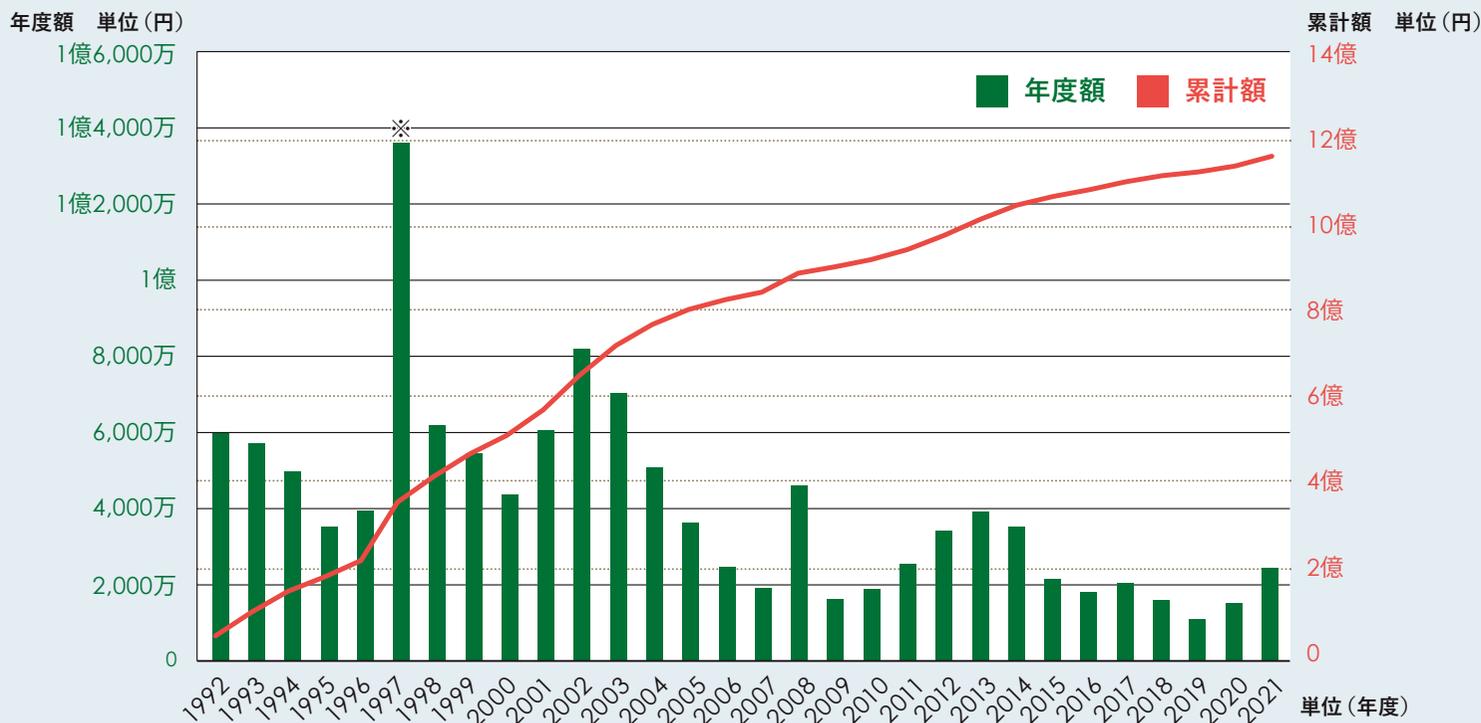
15億3,144万1,076円

1992年～現在までの
寄付金額累計

32,239件 11億5,971万1,092円

30年間の寄付額の推移

2022年3月末 会員数



※1997年 青山さゆり会より1億円の寄付あり

特別終身会員

199名

終身会員

868名

普通会員

4,699名

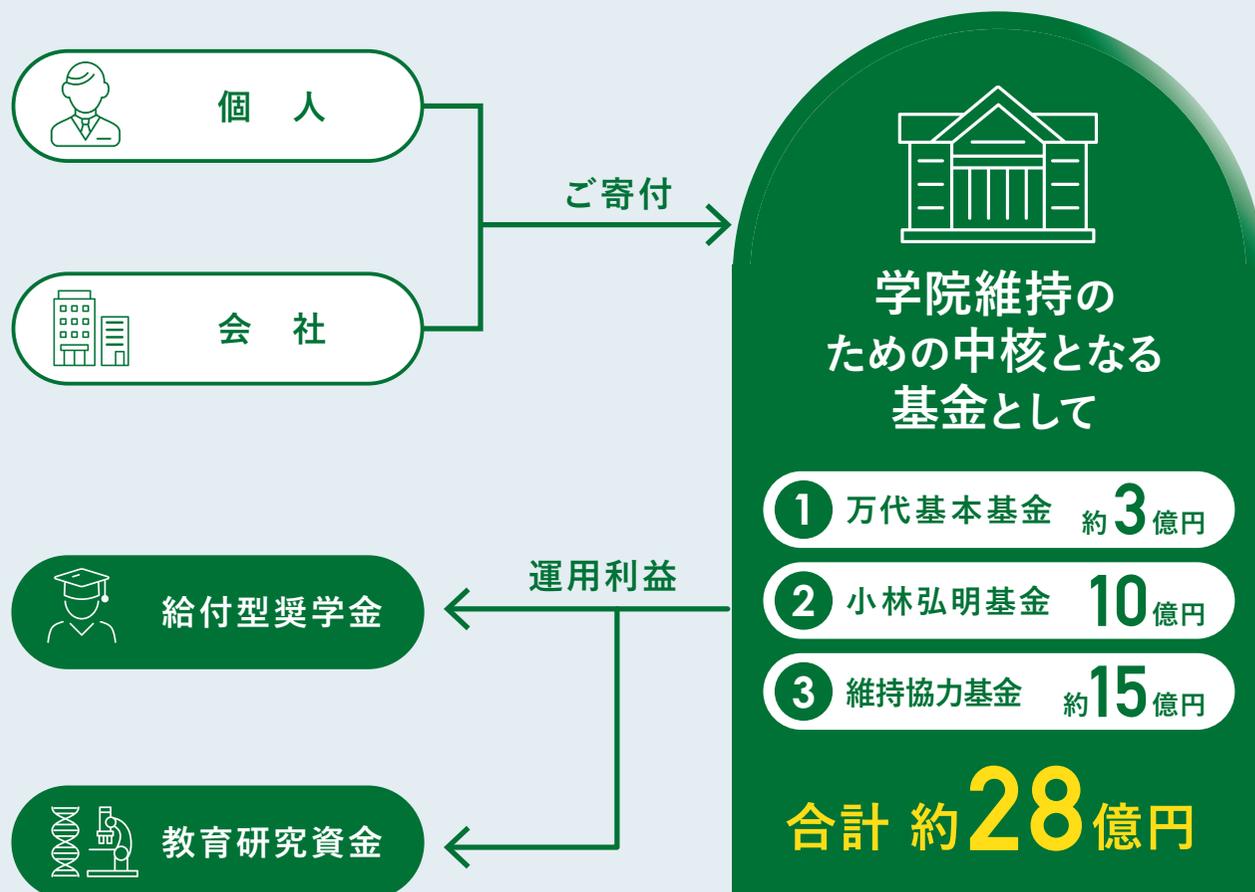
法人(団体)会員

92名

青山学院の未来を紡ぐ基金、「万代基本基金」は まずは50億円を目標としています。

青山学院のさらに安定した財政基盤を構築するため、2020年に万代基本基金を設定いたしました。
青山学院の長期的な発展のために恒久的に維持し、ご寄付によって増やします。
その運用益を用いて、奨学金の給付、教育研究の充実を目指しております。

万代基本基金の流れ



「万代基金顕彰制度」称号

| 累計額 | 称号 |
|---------|------------|
| 500万円以上 | 1874クラブ |
| 100万円以上 | 青学ミリオンクラブ |
| 50万円以上 | 青学フィフティクラブ |
| 25万円以上 | 青学クォータークラブ |

維持協力会募金へのご寄付累計額及び2015年度以降の万代基金へのご寄付の累計額を合算して顕彰いたします。さらに高額のご寄付をいただいた方には、別途サロンをご用意しております。

校友の小林弘明氏のご寄付により 基金が設立されました。

万代基金に株式会社パロマ代表取締役会長兼社長を務める校友の小林弘明氏（1992年経営学部卒）より、個人として10億円の寄付を賜りました。青山学院創立147周年を記念した式典において小林氏へ感謝状を贈呈し、その後、アイビーホール茶珈堂にて、陸上競技部（長距離ブロック）原晋監督と対談形式で未来の若者たちへ向けて挑戦の大切さについてお話いただきました。対談の様子はQRコードより動画とWEBサイトでご覧いただけます。

スペシャル対談

挑戦する覚悟

～未来へのエール～

校友 小林 弘明氏

×
原 晋氏

陸上競技部（長距離ブロック）監督



「今まで、随分とたくさんの方に助けていただいたり、教えていただいたりということが何度も続き、与えてもらうことばかりでしたが、どこかで私の中にお返しをしたいという想いがありました。私が思っている以上に困っている方がいると知り、学生さんにもっとチャンスをもってもらいたいというのが今回の寄付への強い想いです。」

WEBは
こちらから



動画は
こちらから



プレゼントつき寄付「想いがつながる青学ギフト」

校友の皆様が関わるお店より100品以上からお選びいただけます。

2018年度よりスタートいたしましたプレゼントつき寄付はリニューアルを重ね、多くの卒業生（校友）からのご協力をいただき、100品以上からお選びいただけるようになりました。

詳しくはこちらから

青学ギフト



青山学院プレゼントつき寄付

STEP

1

在校生を
サポートしたい！

在校生をサポートしたい気持ちをカタチにする手段の一つに“青学ギフト”があります。



「ギフトで
青山学院の
力になりたい」



あなた

STEP

2

“青学ギフト”で
想いを届ける！

“青学ギフト”は申込用紙、インターネットから簡単にお申込みができます。



いただいた
「ギフト」で
夢をかなえる

在校生

STEP

3

卒業生（プレゼント提供者）からの
プレゼントが贈られる！

2,000円からのご寄付で金額に応じてプレゼントをお選びいただけます。プレゼント商品はすべて卒業生（校友）の方にご協力いただいております。



母校への恩返しを
「ギフト」でつなげる



卒業生
（プレゼント提供者）

STEP

4

在校生、寄付者、
卒業生（プレゼント提供者）の
全員がつながる！

想いをつなげて、お互いに支え合うことで青山学院の明るい未来につながります。



ご協力いただいている校友からの声

青山学院での出会い・つながりが我々の人生そのものです。青山学院に入学し、ウィンドサーフィンサークルで出会い、その後4人が同じ部署で働いているという不思議。この青山学院で出会ったという奇跡が今も色褪せず、この胸に溢れています。

卒業後のいろいろな経験を経て家業を継ぐにあたり、考え方の支えになってくれたのが学院での学びでした。敬愛する先生方、生涯の友との出会いは私の宝物です。

青学ギフトにご寄付いただいた方からの声

寄付する側としては、青学とのつながりを感じられるし、ただ単にふるさと納税するよりもやりがいを感じます。これは卒業生の活躍があるからだとも思いますし、とても良い企画だと思います。

こんなに多岐にわたる職種に青学の校友のメンバーが広がっている事を実感しながら後輩たちのサポートができるのは嬉しいです。

理事長・院長より皆様に御礼申し上げます。

I LOVE
青学

“Be the Difference” の実践

理事長

堀田宣彌



皆様には平素より青山学院の募金事業に多大なるご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。

コロナ禍においても、教育・研究機関としての使命を継続していくために、昨年度まではICT環境を整備した上で、オンラインによる授業・業務を導入しましたが、新学期の授業からは、キャンパス内での感染対策を徹底し、大学は主に対面授業を行い、更にオンライン授業のメリットを取り入れております。大学以外の各設置学校は、対面授業を実施しており、学生・生徒・児童・園児の皆さんが、安心してキャンパスで学ぶことが出来るよう対応しております。

万代基金は青山学院で学ぶ人たちのために創設され、2021年度は22億2千万円強のご支援を賜りました。コロナ禍により経済的な理由で勉学を諦める学生・生徒等を出さないために募集した「学びの継続」支援コロナ募金においても多くのご賛同、ご支援を賜りここに改めて深く御礼申し上げます。

新経営宣言のテーマ“Be the Difference”は、学院が求めている「一人ひとりを大切にする教育」です。個性を大切にし、各自がサーバント・リーダーとして世界に羽ばたいていけるよう、その実践に全力を挙げてまいります。

青山学院を支えて下さっている皆様の変わらぬご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

「サーバント・リーダー」 として生きること

院長

山本与志春



先にあったことを思い起こすな。昔のことを考えるな。
見よ、私は新しいことを行う。今や、それは起ころうとしている。あなたがたはそれを知らないのか。

イザヤ書43章18-19節

長引くコロナ禍により、経済的理由で勉学を諦めることがないよう「学びの継続」支援コロナ募金を募集し、1,158名に1億1,820万円を給付型奨学金として支給することが出来ました。困難なときにこそ寄り添っていただいた皆様の温かい気持ちに改めてお礼申し上げます。

青山学院が目指す「愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人」とは、現在の世界の状況を傍観するのではなく、変革すべく自ら進んで取り組む人です。冒頭の聖書は、過去の栄光にすがることを止めよ。取り返しのつかない失敗をいつまでも悔やむな。今から新しいことが始まるのだと宣言しています。今は変革の時、既成の概念を取り払い、常識を打ち破り新たな世界を作り出す時です。青山学院で学ぶ者が、自分の力や才能を、すべての人と社会のために喜んで捧げる「地の塩、世の光」たる、「サーバント・リーダー」として生き、新たな世界、真の平和を作り出す者でありたいと願います。

青山学院は
いつもあなたと共に
青山学院の最新情報がチェック
できる楽しいメールマガジンを
配信しております。



ご登録をご希望の方は、
右記QRコードから手続き
をお願いいたします。

登録無料



公式Twitter
アカウント



公式YouTube
アカウント



公式Facebook
ページ



Be the Difference®

“世界は一人ひとりの力で変えられる”

「Be the Difference」は青山学院を支える価値観です。
多様な価値観が認められ、この尊厳を重んじた教育によって
社会に貢献してまいります。

万代基金の募集は、校友、保護者、教職員、お取引先などすべてのステークホルダーの方々に広く年間を通じて常時ご支援をいただけるようにご案内するものです。なお、寄付金の対価として、何らかの利益または便宜供与を条件とされる場合は、ご寄付の受領を辞退させていただきますので、ご了承ください。

詳細はお気軽にお問い合わせください。

学校法人青山学院 学院連携本部

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷4-4-25

2022年6月発行

Tel. 0120-900-420

